

新年おめでとう

ございます



新年明けましておめでとうございます。皆さまには、今年一年の想い・願いを胸に新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、年始の豪雪、3月の東日本大震災、9月の台風12号など、自然の猛威、厳しさを改めて痛感した年であり、地域や集落の助け合い・支え合い・やさしさなど、人の絆の大切さを実感し、忘れかけていた日本人の財産を再発見・再認識した年でした。

国際的には、欧州の金融危機に端を発生した通貨不安や円高は、企業の海外移転の加速化

など、少子高齢化が急速に進むわが国の経済にさらなる影響を及ぼしています。

このような時流にあつて、本町は「大山の恵みを受け継ぎ、元氣な未来を拓くまちづくり」を基本とし「元氣で安全・安心そして安定」の取り組みを進めています。

これからの新しい主な事業として「安全・安心」では、子育て支援の中核として建設中の大山地区拠点保育所、中山地区拠点保育所が4月から開園します。新しい保育所の充実した運営を図り、名和地区拠点保育所についても取り組みを進めます。また、高齢化社会に向け、10年先を見据えた交通弱者対策「新しい公共交通のあり方」として、路線を定めない電気自動車活用によるデマンド（予約）運行を4月からスタートします。

防災では、津波対策として、沿岸部に屋外向けの防災無線を6か所設置し、緊急時の初動態勢を強化します。また、山陰道の町内全線開通は、国道9号交通安全対策上からも、平成25年度中の実現に努めます。

「元氣」では、昨年9月に議決された名和地域休養施設「山香荘」の再整備事業にともなう交流人口増加を活かし、住民参画による地域活性化策に取り組みます。また、鳥取大学との連携事業を実施し、わが町の課題解決に向けた調査・研究や、実践など大学とのパートナーシップに基づき、地下水資源の調査や保全活用、地域づくり・村づくりプロジェクト、大山ツーリズムや地域活性化、地域医療など大学の広い知識・視点と住民参画

を合わせた事業推進を考えています。

「安定」では、大山町行政改革プランに基づき、選択と集中を基本に、効果的な施策を展開するとともに、組織再編の検討を進めます。

また、各校区で地域づくりの話し合いを重ねられた「まちづくり推進委員」さんの活動を、より実行し具現化・継続化への仕組みづくりを強化するとともに、「村づくり」の取り組みなど、住民視点の町づくりを住民、行政、民間の連携により推進します。

魅力ある豊富な資源「大山の恵み」を活かし、農林水産業の振興や6次産業化・観光交流産業化の推進、大山恵みの里公社の事業展開、また、子育て支援・福祉施策など、さまざまな施策の実施と充実により、就業機会・雇用創出と若者定住など、地域活性化と住民福祉の向上を積極的に推進してまいります。「わが町が輝き、誇れる大山町」を目指し、全職員一丸となつてがんばります。

町民の皆さまのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝・ご多幸と大山町のますますの発展を祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。

大山町長

森田増範